



## 来年度予算に対する要望書を市長へ提出！中身は？意味あるの？

日本維新の会横浜市議員団・無所属の会は、令和8年度予算編成に対する政策提言として、10月21日に横浜市長へ要望書を提出しました。柱は次に5つです。1. 成長戦略 2. 市政改革 3. 次世代への投資 4. 持続可能で強靱な都市づくり 5. 医療・福祉等の住民サービスの充実。横浜市が予算編成する上で、予算議決権を持つ議会を構成するグループの意見として尊重され、3月末に要望に対する回答を受領します。



詳しくは、HPに全文掲載しています。

[詳細はこちら](#)

## 自民・維新の連立政権により横浜市にどんな影響があるの？

自民党と日本維新の会の連立合意書には、横浜市政に関わる重要な項目が含まれます。

### ① 高校・学校給食の無償化で格差是正へ

来年4月から高校授業料と小学校給食を無償化する方針が明記されました。東京都並みの子育て支援を横浜市が独自に実施すれば年間277億円\*の財源が必要。このために横浜市が国に要望していた全国同一水準の子育て・教育支援の一部が実現します。

### ② 社会保険料の負担軽減で家計にゆとり

医療や薬の負担見直しや制度改革により、現役世代の保険料率引き下げを目指す改革が動き出します。手取りが増えれば、市内消費や地域経済にも好影響が期待されます。年収350万円の単身者の社会保険料は会社負担50万、自己負担50万、合計100万円ほどで、毎年保険料率が上がっています。

### ③ 地方分権の推進で“横浜発”の政策へ

副首都構想を一里塚として国から地方への権限移譲の進展が見込まれます。二重行政解消や災害時の迅速な行政執行、区の権限強化などが期待できる特別市制度の実現には追い風であると捉えます。

\*出典：令和6年11月横浜市の国への要望項目「子ども・子育て施策における全国同一水準の保障」



**PROFILE**  
柏原 傑（かしわばらすぐる）  
1985年広島生まれ/鶴見区寺谷在住/妻と小学生3人の5人家族/公立小中高を経て、千葉大学工学部卒/民間企業を経て、2023年より横浜市議員/会派及び県連政調会副会長  
こども青少年・教育委員会及び市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会 委員

## 第三回定例会はどうだった？ 決算審査で質問に立ちました！



### < 質問や要望を行った主な会議 >

- 9月5日 鶴見区区づくり会議
- 9月16日 教育委員会
- 9月17日 こども青少年局
- 10月7日 脱炭素・GREEN × EXPO推進局 ※
- 10月14日 都市整備局 ※
- 10月16日 みどり環境局 ※
- 10月18日 建築局 ※

※：決算特別委員会局別審査

裏面では、ご関心の高い鶴見駅中距離列車の停車やJRガード下に関する質問をピックアップしました。

## 市政報告会開催のご案内

第三回定例会の決算審査、質問の内容、鶴見区の課題など最新情報をお届けいたします。一緒に鶴見のこと考えませんか？ ぜひご参加ください！

- ・日時 11/29(土)15:15～16:30 (15:00～受付開始)
- ・場所 フーガ1 (SEIYU) 鶴見公会堂2号会議室
- ・会費 無料（学生やお子様連れも歓迎です）
- ・申込方法

- ①二次元コードから（フォーム）
- ②FAXの場合は、氏名、住所、電話番号を記載して送信ください
- ③お電話でも受け付けます。



[申込フォーム](#)

発行元：日本維新の会横浜市会議員団 柏原すぐる 横浜市中区本町6-50-10 議員室6階 TEL:050-3637-5722 / FAX:045-663-1501 / E-Mail: [info@kashiwabara-suguru.com](mailto:info@kashiwabara-suguru.com)